



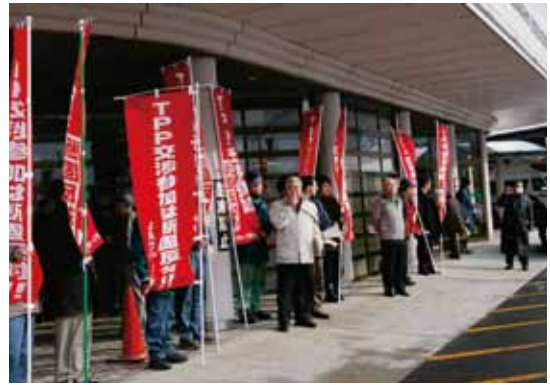
▲栽培管理について多くの意見が交わされた

育苗時期の効果的な栽培管理を学ぶ 水稻栽培講習会

J Aは異常気象による稲育苗期の生育不良を防ぐため、水稻栽培講習会を3月22日に開催しました。

講習会では、県の普及振興課が「種子消毒や催芽時は水温を低下させず、播種後は過度な保温や剤の施用を控え、苗の徒長や不出芽を防ぎましょう。」と説明。また全農あきたから、病害虫防除に関する注意点も説明されました。

参加した生産者は、高品質米の収量増加に向け、育苗管理の重要性を再確認していました。



▲T P P交渉参加反対を呼びかける袴田組合長

山本組合総合病院前で T P P交渉参加反対を呼びかける

様々な分野に影響を及ぼす『T P P交渉参加』を阻止するため、J Aグループ秋田は3月19日、県内11カ所でT P P交渉参加反対キャンペーンを実施しました。

当日は、J A役員や生産者が交渉参加反対の旗を掲げ、人々にチラシなどで、交渉参加の危険性を訴えかけました。周囲からは「私も反対です!」「一緒に頑張ります!」「私もうるさくない」といった賛同の声が上がるなど、地域一体となって取り組むことを誓い合いました。



▲新体制で臨む、はまなす産直会

地産地消の 更なる発展を誓う

第15回J Aあきた白神はまなす産直会総会が4月6日に行われ、役員改選の結果、会長に鈴木和子さんが再選されました。

平成23年度事業報告ならびに事業計画が原案通り承認されるとともに、地産地消の拠点としているみよが館の更なる発展に協力していくことを誓い合いました。

なお、J Aの人事異動によりみよが館には、新たに店長として佐藤伸咲さんを配置しております。



▲ねぎ苗の生育状況などを確認した巡回講習

適切な温度管理で 健苗育成を目指す

J Aねぎ部会は育苗管理のチェックと今後の栽培計画を確認し合う、チェーンポット苗ハウス巡回講習会を、4月3日から計8カ所で開催しました。

講師を務めた普及指導課は、「三寒四温の気候なので、ハウスの開け閉めなどで適温管理に努め、苗の蒸れや焼けに注意して下さい。」と話し、J A担当者も「病気等を防ぐため、過湿にならないような灌水を心掛けて下さい。」と呼びかけました。

